



むらかみ

市議会だより

No.85
令和8年2月15日



[特集] 行政視察レポート …	2
12月定例会	
一般質問……………	4
主な議案……………	10
議案の審議結果……………	13
議会の活動レポート……………	16
この人にインタビュー……………	20

温かな絵本の世界へ
—中央図書館・よみきかせ—



市議会だより

を市政に生かす

総務 文教

廃校を利用した障がい者施設

長岡市の旧島田小学校は平成21年に廃校となり、24年に木造校舎をリノベーションした「和島トウール・モンド」が開設され、レストランとパン工房をオープンしました。

令和2年に社会福祉法人長岡三古老人福祉会が母体となつて、相談支援事業所「わしま」が設立されました。同法人は市から建物と用地の譲

渡を受け、就労継続支援A型事業所として、知的、精神、発達障がいを持つ18名の利用者が5名のスタッフと共に、知識習得や能力向上のための訓練を行っており、多くが普通免許を取得し自家用車で通勤しています。

地域との連携事業として、地産地消の食材を使ったレストランやパン工房を運営し、

地元の道の駅や各種イベントでの販売、音楽イベントの開催、小中学校との交流活動など多様な取り組みを行っています。

特に、補助金に依存せず利益を上げ、平均賃金が12万4千円を超えていることに驚きました。また、調理師や介護福祉士の免許取得支援にも力を入れています。

それぞれの方が自信を持って生き生きと働いている様子が印象的で、障がい者雇用の

重要性を実感した有意義な視察となりました。



市民 厚生

障がい者雇用の職場環境

川崎市に本社を構える日本理化学工業㈱は、主にチョコレクの製造を行っており、国内シェアは4分の3を占めています。全社員89名のうち、66名の知的障がい者が生産現場を担っています。

予定でしたが、一生懸命な働きぶりに感心した社員から、生徒を雇用するよう要望があったとのこと。この「物づくりの職人」66名の知的障がい者が生産現場で働いています。それぞれ「物づくりの職人」として一生懸命仕事をして、高い生産性で会社の経営に貢献しています。会社では、障がい者が安心して仕事ができるよ

障がい者雇用の契機
昭和35年、実習で受け入れた養護学校の生徒2名を雇用したことを契機に障がい者雇用を始めました。実習だけの

取り組みの参考に
同社の障がい者雇用の在り方と同様にすることは難しいですが、仕事の教え方を工夫したり、障がい者の中にリーダーをつくって仕事を進める

などの取り組みを参考にすべきたと思いました。



常任委員会の 行政視察レポート

村上市議会では、他自治体などの先進の取り組みを学び、本市の市政に対する施策の提案などに反映させるため行政視察を行っています。

■総務文教常任委員会 10月27日、28日

◎高田 晃 ○富樫雅男 魚野ルミ 尾形修平
鈴木いせ子 菅井晋一 野村美佐子

視察先	内 容
新潟県 長岡市 富山県 立山町	廃校となった校舎の有効活用について
新潟県 上越市	運動部活動の地域移行について
富山県 富山市	北前船日本遺産構成文化財の保存、活用について

■市民厚生常任委員会 11月5日～7日

◎鈴木一之 ○上村正朗 渡辺 昌 長谷川孝
川村敏晴 大滝国吉 山田 勉

視察先	内 容
日本理化学工業株式会社	障がい者雇用の取り組みについて
埼玉県 桶川市	健康寿命の延伸について
埼玉県 深谷市	後期高齢者の人間ドック費用助成と健康づくりについて
埼玉県 上尾市	子ども・子育て支援複合施設「AGECOCO」について

■経済建設常任委員会 10月7日～9日

◎河村幸雄 ○小杉武仁 三田敏秋 姫路 敏
佐藤憲昭 富樫光七

視察先	内 容
兵庫県 洲本市	エネルギーパーク洲本（再生可能エネルギーの活用によるまちづくり）の取り組みについて
岡山理科大学	好適環境水を利用した陸上養殖の取り組みについて

◎：委員長 ○：副委員長

先進事例

経済建設

鮭の陸上養殖の可能性を探る

近年、鮭の漁獲量が大幅に減少していることから、陸上養殖の可能性を模索するため、好適環境水を利用した養殖研究を進める岡山理科大学を視察しました。

養殖技術の目覚ましい進歩

好適環境水とは、海水の中から魚類に必要な成分を絞り込み、淡水魚も海水魚と同じ水槽で飼育する人工飼育水で、本年は世界初となる「ベニザ

ケ」の陸上養殖が実証実験を経て成功し、福島県では本格的な養殖事業がスタートするとのことでした。

シロザケの養殖も可能

この養殖方法は、人工的に管理された環境であるため、自然の影響で生産量が左右されず、エネルギーコストが低いことに加えて魚体の成長も早く、寄生虫や病気が発生しないため安全に生食で提供で

きるとのことでした。

また、水源さえあれば山間部等の陸上でもシロザケの養殖は可能だと確認され、廃校利活用の可能性もあります。

鮭のまちを後世へ

本市におけるシロザケ増殖事業への取り組みは、経済波及効果にもつながり、事業価値は大いに高いと判断され、廃校利用や廃熟利用など生産コストの軽減で、カーボンニュートラルにもつながります。

委員会でも研究を重ねなが



ら、鮭のまちを後世へつなげられるよう市に具体策を提案していきたいと思えます。

12月定例会

一般質問は、市の行政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提案を行い、市民の声を市政に届けるものです。12月定例会では、10人の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、掲載された原稿は質問者が作成しています。

一般質問

一般質問

市政のことが聞きたい

1 **野村美佐子**

1. 旧香藝の郷の利活用について
2. 中学校の部活動の地域移行について
3. 高齢者等エアコン設置費補助事業について

6 **新緑会 菅井晋一**

1. 農業振興とほ場整備事業の進展について
2. 後期高齢者に対する人間ドック助成について
3. 小・中学校児童生徒の育成指導について

2 **新緑会 姫路 敏**

1. ごみ処理手数料の徴収方法変更について
2. 道の駅朝日について
3. 統合保育園について

7 **鷺ヶ巣会 河村幸雄**

1. 人工芝多目的グラウンドの建設について
2. 「村上祭の屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録について

3 **高志会 小杉武仁**

1. 鮭の不漁と影響について

8 **新緑会 富樫光七**

1. 有機農業の取組について
2. クマ出没対策について
3. 村上駅周辺まちづくり事業について

4 **鷺ヶ巣会 山田 勉**

1. クマ対策について
2. 村上駅周辺まちづくり事業について

9 **令和新風会 高田 晃**

1. 多様化するニーズに対応した保育サービスの充実について
2. クマ被害対策について

5 **新緑会 上村正朗**

1. 山北地域の活性化について
2. 社会福祉協議会に対する支援について
3. 公共交通の充実について
4. 移動図書館車について

10 **高志会 鈴木一之**

1. 障がい者雇用と就労支援について



継続できる瀬波温泉活性化を



野村美佐子

問 旧香藝の郷の利活用は、国の「先導的官民連携支援事業」として博報堂が調査を進めているが、進捗は。

答 事業計画の具体化に向けて、どういった事業者が参画できるのか、建物の耐震性など詳細な調査をしている。

問 村上市と運営する特別目的会社（SPC）との関係はどうなるか。

答 一定の期間を区切って博報堂などを中心としたSPCが運営し、その期間内に地元企業が自立して運営していけるようにするものである。市としては成果、業績に応じて報酬を支払うということになる。

問 建物は北向きで、窓を設けても南側が崖なので光が差すことない。地元企業

が継続して運営できることが重要だが、空調費用などの維持管理費の大きさから撤退してしまわないか危惧するがいかがか。

答 今回の事業は美術館棟を使用することが大前提で進められている。建築、電気関係など、いろいろなメンバーがSPCに入って知見や専門性を生かして運営していくと期待する。

問 購入後、長年活用できなかった施設であり、市長として議会も責任がある。継続した事業となるよう、慎重に検討し、市民に進捗状況を知らせ、意見も聞いて進めてほしい。

答 瀬波温泉エリアはこれまで大きな魅力を発信してきたエリアであり、本施設はその中心部にあり、今後その拠点となるような施設としていきたい。



民間の創意工夫を活用して地域活性化を



地元企業が頑張っている 道の駅朝日みどりの里

問 本年10月に「道の駅朝日」の管理運営候補者選定のプロポーザルが行われた。そこで選ばれたのは新潟市に籍を置く「あさひミライ共創パートナーズ」であった。このプロポーザルには、現在指定管理者で事業を行っている地元企業の「株式会社まほろば」も応募したが選ばれなかった。その理由を聞きたい。

答 プロポーザルには、三つの事業者の応募があった。応募者は自ら提出した事業計画書と収支計画書に沿ってプレゼンテーションを行った。審査は、施設の目的を達成するための取り組みを、管理運営体制や経営基盤、周辺施設の活用策などを踏

まえ、21の評価項目を基に行っており、その結果として、今回の事業者が選定されたものである。

問 現在指定管理者として事業を行っている事業者や地元企業体とは、協議を行ってこなかったのか。

答 令和3年には基本構想を作り、地元地域の方々と一緒に議論を重ねてきている。そのうえで公募型プロポーザル方式となった。

問 結果的に実績のある地元事業者が選定されなかったが、市長は本当にこれで良いのか、もっと良い方法はないのか。政治判断として今一度考えるべきであると思うが。

答 私は市長としての発言も行動も、持続可能な村上市を最優先に考えており、適正かつ透明であるかを、全ての判断基準としている。

市長の政治判断を問う！



姫路 敏

鮭のまち村上を後世へ



問 近年、温暖化が原因とされる影響によって鮭の遡上数が著しく減少し、捕獲数も深刻な現状で、採卵も確保が難しい状況にあり、稚魚放流にも大きな影響があるが原因は。

答 海水温の上昇や海流の変化等の影響により、放流した稚魚の帰率が低下し、漁獲量が大きく減少している。市内の3漁協でも5年度から大幅な減少傾向が続いているが、今期は壊滅的な状況となっており、三面川については今秋の度重なる大雨による増水と濁りの影響が大きい。

問 鮭加工販売業者や飲食店をはじめ、市民の食生活へ影響は。



視察先である岡山理科大学の陸上養殖研究施設



小杉武仁

答 鮭加工販売業者や飲食店では、鮭を確保することが難しく、原材料価格の高騰による商品価格の値上げや、提供停止との報告を受けており、市民生活や市内経済にも大きなダメージを与えると懸念している。

問 「鮭のまち村上」として全国に知られる本市だが、伝統的な鮭文化存続のため、人工ふ化と並行して、岡山理科大学の陸上養殖技術を活用し、鮭増殖に向けた対策も必要では。

答 村上の鮭文化を維持していくためには、自然産卵や人工ふ化増殖事業に加え、養殖による個体確保も必要であると考えている。

特にシロザケについては、現時点で養殖技術が確立されていないことから、水産養殖分野で多くの成果をあげている大学機関と連携し、技術開発に取り組んでいく。

クマ出没の現状と対策は



問 全国的にクマの出没が報じられ、市内でも連日のようにクマの目撃情報が寄せられており、外出する際にも周囲への目配りが欠かせない。この非常事態に対応するには官民一体となった対策を講じないと、安全な日常生活を営むことは難しい状況と考える。本市における現状と対策、今後の対応については。

答 本市の現状としては、12月3日現在の目撃件数は441件、捕獲頭数は201頭となっており、これは昨年度の7倍以上である。

対策として、捕獲用のわな34基を市内各所に配備し、猟友会と連携して捕獲に努めている。出没情報は防災行政無線等を通じて市民の



山田 勉



猟友会と市職員でわなを設置

皆さまへ周知するとともに、情報に基づき警察や地元猟友会と現地での痕跡調査等を行っている。さらにパトロールによる注意喚起を行い、警戒活動を強化している。今後はA-1カメラの導入など、ICTを活用した対策も進めていく予定である。

問 村上駅周辺まちづくり事業の進捗状況は。

答 国の施設誘致については、市内に所在する官公署を想定し協議を進めているが、対象となる官公署や移転時期は決定していない。複合施設の整備については、官民が連携し協議、検討するための組織設立に向けた準備会を立ち上げたところであり、引き続き民間活力を導入した事業展開を進めていく。

ユネスコ無形文化遺産登録



問 ユネスコ無形文化遺産登録が決定した場合、祝賀イベント計画の予定は。

答 登録が最終決定される瞬間を市民と見届け、喜びを分かち合いたいと思ひ、パブリックビューイングを計画している。また、決定後には村上駅前歓迎塔パネルおよび同駅前商店街街路灯バナーの設置、本庁舎および支所における祝賀横断幕の掲示のほか関係町内や観光施設においてのぼり旗の設置を行い市民の皆さまと祝賀ムードを盛り上げていきたい。屋台の記念巡行については、村上まつり保存会と連携して実施時期を含



未来へ引き継いでいかなければ



河村幸雄

めて内容を詰めている。3月には記念シンポジウムを開催し、市民と共に機運醸成に努めていきたい。また、本市の魅力を発信し、地域経済の活性化にもつながる取り組みである物産展を、村上祭当日に開催できないか物産関係団体と協議を行っている。

問 この文化を今後どのようにして国内外に発信していくのか。

答 世界の宝となる村上祭を、より多くの人々に知ってもらうことは、文化を伝承する上で有効な手段となる。村上祭を含めた本市の見どころを紹介した英語、韓国語、中国語のパンフレットを作成し好評を得ている。今後も継続してホームページやSNSによる情報発信の充実に努め、多くの方々にも村上祭を知っていただく手立てを講じていく。

行政は市民ファーストで



富樫光七

問 クマ出没対策の状況は。

答 本市における今年のクマの捕獲数は12月4日現在で201頭で、昨年度の約7倍である。対策としては、捕獲用わな34基を市内各所に配備し、猟友会と連携して捕獲に努めている。

問 早稲田集落は、国道7号を中心に住宅が縦横に広く点在している所に、北側山系と東側山系から、縄張りの異なるクマの親子が出没して対策に苦勞しており、それぞれの方面に捕獲用わなを設置してほしいとの声もある。装備の一つとして、熱感知センサー付きドローンを利用する手法もあると思うが。

答 熱感知付きドローンの試運転はやっているが課題もある。来年度、ICTを



寒風の中の開発地(統合保育園整備予定地)

活用した通信機能付きカメラの試験導入を予定している。

問 村上駅周辺まちづくり事業の一つである統合保育園整備運営に関する協定が、事業者との間で解除された。これを機に今一度再考し、公募運営方法を見直して、若い職員に汗をかいて知恵を出してもらい、地元事業者が参画できる仕組みを考えてほしい。それが地元商圏を潤す源になる。世はアメリカファースト、日本ファーストをうたうならば、村上も市民ファーストの行政運営を推進すべきであると思うが。

答 本年10月30日付けで協定を解除した。今後は説明会を開催し、改めて公募を行い、開園に向けて準備を進めたいと考えている。

クマ被害対策の課題は



高田 晃

問 クマ対策で警察や猟友会との連携上の課題は。

答 関係機関との連携体制は十分整っており、大きな問題はないと考えているが、更なる連携強化に努める。

問 対応にあたる市職員体制は。

答 今年はクマの出没数が多く、担当職員に負担がかかったが、本庁および各支所でも他課との協力体制は十分に取れていた。今後は専門の職員を配置することで、業務の強化を図り担当職員の負担軽減に努める。

問 今年はクマの捕獲数増加に伴い、猟友会への委託料が150万円増額されたが、1頭駆除しても数千円にしかならない。どのように考えるか。

答 猟友会への委託料は村



パトロールにあたる猟友会員

上支部に支払っている。それを各分会に人数等で分配しているが、その後の使途については承知していない。

問 山北地域では、地域おこし協力隊員と集落支援員がクマ対策で有効だったが、他の地域でも専門職として拡大する考えはないか。

答 山北地域の2名は、それぞれの知見を生かした活動をしており、そうした方を核とした対策も選択肢の一つと考える。

問 ジビエ活用と解体場所設置の考えは。

答 固定した設備を作って解体するのは距離的、時間的な課題もあり、移動式なども考えている。また、品質面の課題も踏まえて検討したい。

共生社会の実現に向けて



「発注拡大に向けて」本市と障がい者就労施設等との優先調達説明会(令和7年6月)

問 就労支援は障がい者にとって、地域で自立した生活を送ることができよう経済的基盤である所得の確保や、働くことによる生きがいづくりのための社会参加が大切であり、それらができる環境整備が重要だと考えるが、雇用の拡大に向けた具体的な施策は。

答 就労には、一般雇用や障がい者雇用、就労継続支援のような福祉サービスによる就労などがある。とりわけ障がい種別や程度、特性などによる個々に合ったマッチングが大切であり、そのため、就労選択支援や就労移行支援をはじめとした福祉

サービスを活用した中で、自身の強みや弱みなどを把握したうえで訓練を重ね、自分に合った就労先を選択できることが重要であると考えている。また、雇用する側の障がい者に対する理解や対応の促進、先進的な他企業の取り組みの共有も大切であると考えると、雇用推進企業ネットワーク「すずな」を立ち上げて企業、教育、医療等関係団体の情報交換の場の創出、障がい者雇用への理解の醸成を図り、マッチングや職場定着に向けた取り組みを進める。

問 本市における障がい者就労施設等からの物品等の調達実績は。

答 6年度で254件、492万5349円。主な内容は食品および飲料の物品調達、クリーニング、清掃、施設管理の役務調達であり、今後も発注拡大に努力する。



鈴木一之

冷暖房費を含めた1時間単位の使用料へ

議第130号 村上市公民館条例の一部を改正する条例制定について ほか

問 施設使用料を1時間単位とし冷暖房費を含めることは非常によいと思うが、この改正により、市民にどのような影響が出るかを検証するべきではないか。対象となる団体と協議してもらいたいが、今後の進め方は。

答 9月から5回の説明会を行い、社会教育団体に対してはさらに1回説明を行った。また、12月中に社会体育団体に対しては個別の説明会を設けるが、説明会を通じて使用料が具体的にどの程度増えるのかなど、理解を深めていただけるようにしたい。個別の減免については、各施設設置条例の規則に減免に関する規定があり、施行する8年7月までにこの規則をどのように運用するかしっかり定め、それぞれの施設の利用者にご理解いただけるようにしたい。

12月定例会

令和7年村上市議会12月定例会は、12月2日から19日までの18日間の会期で開かれました。この定例会には、市長から条例改正や補正予算など議案79件、議会側提案の請願や議員発議など7件が提出されました。

利用状況により開館日や開館時間を見直し

議第137号 村上市体育施設条例の一部を改正する条例制定について ほか

問 体育館で照明を利用した場合、使用料が約1.5倍となり影響が大きい。今後、LED化により電気料金が下がると思うが、その辺の検討はされたのか。

答 今回の使用料見直しでは、現在かかっている施設全体の金額ということで算定をしている。今後、5年に1度見直しをする方針であり、その際には過去3年度分の使用料、電気代等々含めて、再度使用料の見直しを図ることになっている。LED化による影響については次の見直しで考慮する。

問 全体的に施設の開館時間が短くなるとの理解でよいのか。

答 施設の利用状況の調査により、使用されていない曜日、時間帯、利用人数から、開館日・開館時間の見直しを行うもので、実態に即して利用の少ない時間帯について短縮した。

問 利用団体の一部からは時間延長の要望が出ている。若い方々、特に勤労者にとって、午後9時で終わるといふことになると、仕事が終わってから行っても活動する時間が短くなる。今後、利用状況を見ながら改善する考えはあるのか。

答 この12月16日に、社会体育団体の皆さんと、今回の見直しの方針について説明会を行う予定である。その際に、利用者の声をよく聞き取って今後の方針に活かしていきたい。

施設の開館時間や使用料の見直しへ条例改正を審議

市では、令和6年度からの3年間を「財政健全化集中取組期間」として、歳入の新たな確保策や歳出の見直しを進めており、近年の人件費や光熱水費の高騰により市有施設の運営経費が増加していることから、運営管理の効率化や適正化への取り組みを行います。

各施設の利用状況により開館日や開館時間を変更するほか、使用料については、原価（コスト）計算を行わないまま合併以降据え置かれてきており、算定基準の明確化や減免基準の見直し、受益者負担の公平性を図るため、条例改正の合計39議案が12月定例会に上程され審議されました。

統合保育園整備事業に向けあらためて審議会を設置

議第145号 村上市統合保育園等整備運営事業審議会条例制定について

村上駅周辺まちづくり事業で、統合保育園の整備運営の協定書を締結し事業を進めてきた事業者からの申し入れにより、協定が解除されたことから、あらたな事業候補者の公募のため審議会を設置します。

問 審議会の委員は新しく公募等をするのか。

答 基本的には以前の委員の方をベースに検討していきたい。

問 委員は以前の方をベースに選びたいとのことだが、建築、保育園や幼稚園の運営のスキルを持った人を加えなければならないのではないのか。

答 建築に関する知見がある委員が必要だと考えており、そこも含めて委員の選定をしていきたい。

問 今後の審議会のスケジュールは。

答 8年1月から4月までの間に公募期間を設け、本定例会に2回分の審議会開催経費を計上しており、8年度についても2回分、合計4回の開催を想定している。詳細なスケジュールは審議会の中で検討していくので、現段階では事務局案である。

問 市内の保育園や幼稚園が参画できるような公募条件になるか。

答 前回の募集要項の条件でも、保育園または認定こども園を1年以上運営している法人ということであった。市内の法人についても同様な形で該当すれば参加は十分可能である。

六斎市にキッチンカー出店で活性化も

議第159号 村上市露店市場管理の一部を改正する条例制定について

問 六斎市は年々出店者数が減ってきているが、市の観光面からも宣伝してきたものであり、今後も六斎市の活性化を図っていくのであれば、出店料を引き上げるのではなく、逆に出店いただける方にお金をお支払いしてでも出店いただけるような考え方はできないか。

答 六斎市は市民生活を支えるうえでも重要な市場であり、これからも継続していただきたいというのが大前提である。しかし、今回の見直しでは市全体での受益者負担の公平性を踏まえて、最低限の出店料引き上げを検討し、併せて振興策としてキッチンカーなどの多様な出店を募る内容での改正案となっている。

クリエート村上の利用時間を短縮

議第160号 村上市勤労者総合福祉センター条例の一部を改正する条例制定について

問 村上市勤労者総合福祉センター（クリエート村上）は勤労者のための施設であるが、これまでの開館時間の午前8時30分から午後10時を、午前9時から午後9時とするものだが、その根拠は。

答 利用者の状況を踏まえての時間設定である。年間で7万人ほどの利用があるが、そのうち午後9時から10時の利用者は3パーセントほどであり、日中の利用が非常に多い状況となっている。また、施設管理の人件費の削減にもつながる。

令和7年度 一般会計補正予算

小中学校に自走式草刈り機を配備

学校管理費 260万円

問 以前草刈による車の窓ガラスを割る事故が多々あったが、自走式草刈り機の購入はそのような事故を防止しようという意図があるのか。

答 今まで飛び石で事故があったのはチップソーの草刈り機による作業であった。すべての草刈をチップソーの草刈り機で行うと2人がかりで非常に時間がかかることから、敷地の平坦なところを自走式草刈り機で処理すれば、作業の負担も軽くなるということで購入する。

問 学校に配置した自走式草刈り機を地域や自治会に貸すことはできないか。

答 今までそのような要望はなかったので、現時点では貸出は想定していない。管理の問題や故障への対応といった課題をクリアしないと実施は難しい。

ふるさと納税にかかる経費は5割まで

ふるさと納税経費 6840万円

問 ふるさと納税の返礼品における経費はどのくらいとなっているのか。

答 返礼品にかかる経費は寄附額の3割以内という制限があり、さらに送料、インターネットでの決済手数料、担当職員の人件費も加えて、寄附額の5割を超えてはいけないというルールがある。なお、インターネットサイトは24社のサイトと契約している。



全国から寄せられる
「ふるさと村上応援寄附金」

令和7年度 特別会計補正予算

村上市介護保険特別会計補正予算

問 介護認定者の状況や申請件数の状況は。

答 7年10月末の認定者数は4,226人である。7年4月から11月末までの申請件数は、新規申請が645件、区分変更申請が385件、更新申請が1,508件となっている。

問 介護認定における傾向は。

答 加齢に伴って介護の状態が重くなり、例えば要支援だった方が要介護に、要介護3だった方が要介護5になるなど、介護度が上がる方が多い状況となっている。

議案の審議結果

◎=全会一致で可決、同意、採択 ○=賛成多数で可決、同意、採択

議案番号	議案名	結果	議案番号	議案名	結果
請願第10号	物価上昇に見合う年金引き上げを求める請願	◎	議第130号	村上市公民館条例の一部を改正する条例制定について	◎
請願第11号	公的施設の使用料の社会教育団体に対する減免基準の見直しを求める請願	◎	議第131号	村上市総合文化会館条例の一部を改正する条例制定について	◎
請願第12号	免税軽油制度の継続を求める請願書	◎	議第132号	村上市三の丸記念館条例の一部を改正する条例制定について	◎
議員発議第10号	物価上昇に見合う年金引き上げを求める意見書の提出について	◎	議第133号	村上市さんぼく会館条例の一部を改正する条例制定について	◎
議員発議第11号	新潟水災被害者救済と問題解決に向けた取組を求める意見書の提出について	◎	議第134号	村上市生涯学習推進センター条例の一部を改正する条例制定について	◎
議員発議第12号	免税軽油制度の継続を求める意見書の提出について	◎	議第135号	村上市教育情報センター条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第110号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(佐野一彦氏:再任)	◎	議第136号	村上市スケートボード施設条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第111号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(佐藤八重子氏:再任)	◎	議第137号	村上市体育施設条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第112号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(加藤直子氏:再任)	◎	議第138号	村上市重要文化財若林家住宅等管理条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第113号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(神田秀孝氏:再任)	◎	議第139号	村上市指定文化財武家住宅条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第114号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(相馬由紀子氏:再任)	◎	議第140号	村上市郷土資料館条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第115号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(加藤正志氏:再任)	◎	議第141号	村上歴史文化館条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第116号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(菅原千鶴子氏:再任)	◎	議第142号	縄文の里・朝日条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第117号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(富樫錬太郎氏:新任)	◎	議第143号	村上市火災予防条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第118号	専決処分の承認を求めることについて(専第21号 令和7年度村上市一般会計補正予算(第10号))	◎	議第144号	長津研修センター条例を廃止する条例制定について	◎
議第119号	専決処分の承認を求めることについて(専第19号 令和7年度村上市下水道事業会計補正予算(第3号))	◎	議第145号	村上市統合保育園等整備運営事業審議会条例制定について	○
議第120号	新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	◎	議第146号	村上市地域コミュニティセンター条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第121号	村上市行政組織条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第147号	福祉センターゆり花会館条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第122号	村上市情報通信施設条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第148号	瀬波児童館開放条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第123号	村上市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第149号	村上市老人福祉センター条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第124号	村上市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第150号	村上市保健センター条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第125号	村上市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第151号	村上市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第126号	村上市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第152号	村上市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第127号	村上市特別会計条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第153号	村上市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第128号	村上市教職員住宅条例の一部を改正する条例制定について	○	議第154号	村上市印鑑条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第129号	村上市立学校使用条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第155号	村上市急患診療所条例の一部を改正する条例制定について	◎

議案の審議結果

◎=全会一致で可決、同意、採択 ○ = 賛成多数で可決、同意、採択

議案番号	議案名	結果	議案番号	議案名	結果
議第156号	村上市急患診療所運営委員会条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第172号	村上市農山漁村交流促進施設条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第157号	村上市と関川村との間の急患診療所事務の委託に関する規約の変更について	◎	議第173号	朝日みどりの里体験交流センター・休養施設条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第158号	村上市地域活性化施設条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第174号	朝日みどりの里農産物直売施設条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第159号	村上市露店市場管理条例の一部を改正する条例制定について	○	議第175号	村上市内水面総合振興対策事業施設条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第160号	村上市勤労者総合福祉センター条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第176号	村上市新内水面振興対策事業施設条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第161号	村上市観光案内所条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第177号	村上市都市公園条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第162号	村上市民ふれあいセンター条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第178号	村上市公園条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第163号	朝日まほろばふれあいセンター条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第180号	令和7年度村上市一般会計補正予算(第11号)	◎
議第164号	朝日みどりの里屋根付き多目的広場条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第181号	令和7年度村上市情報通信事業特別会計補正予算(第3号)	◎
議第165号	村上市笹川流れ夕日会館条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第182号	令和7年度村上市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	◎
議第166号	朝日温泉活用健康増進施設条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第183号	令和7年度村上市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	◎
議第167号	村上市宮あらかわゴルフ場条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第184号	令和7年度村上市介護保険特別会計補正予算(第2号)	◎
議第168号	村上市農村環境改善センター条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第185号	令和7年度村上市上水道事業会計補正予算(第2号)	◎
議第169号	神林農村環境改善センター条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第186号	令和7年度村上市簡易水道事業会計補正予算(第2号)	◎
議第170号	朝日シルクフラワー製作工房施設条例の一部を改正する条例制定について	○	議第187号	令和7年度村上市下水道事業会計補正予算(第4号)	◎
議第171号	村上市農村公園条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第188号	令和7年度村上市一般会計補正予算(第12号)	◎

※網掛けの議案は下段に賛否を掲載しています。

各議員の賛否

議案審議結果のうち、賛否が分かれた網掛けの議案について、議員の賛否を公表します。

◎：会派の代表者 *：会派の経理責任者

議案番号	高志会					鷲ヶ巣会				新緑会			令和新風会			至誠クラブ			賛否結果			
	◎尾形修平	*小杉武仁	長谷川孝	鈴木一之	魚野ルミ	◎大滝国吉	*鈴木いせ子	山田勉	河村幸雄	◎菅井晋一	*上村正朗	富樫光七	姫路敏	◎川村敏晴	*高田晃	佐藤憲昭	◎渡辺昌	*富樫雅男	三田敏秋※1	野村美佐子	賛成	反対
議第128号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	17	2
議第145号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	-	×	13	6
議第159号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	-	×	14	5
議第170号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	18	1

※1 議長は地方自治法第116条第2項の規定により表決に参加していません。

請願の審議結果

請願は本会議で採決が行われ、過半数の賛成により採択されます。

件名	紹介議員	付託委員会	審議結果
物価上昇に見合う年金引き上げを求める請願	野村美佐子	市民厚生 常任委員会	採択
公的施設の使用料の社会教育団体に対する減免基準の見直しを求める請願	上村正朗	総務文教 常任委員会	採択
免税軽油制度の継続を求める請願書	菅井晋一	経済建設 常任委員会	採択

陳情の審査結果

陳情は所管常任委員会の協議会で審査され、常任委員全員の了承で、願意了承となります。

件名	所管委員会	審査結果
新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に向けた取組に関する陳情	市民厚生常任委員会	願意了承
国民の主食である米の価格を統制することを求める意見書の提出に関する陳情	県外からの郵送による陳情は、原則として委員会で審査せず、全議員への配布にとどめる取り扱いとしています。	

意見書

- ◎ 物価上昇に見合う年金引き上げを求める意見書
- ◎ 新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に向けた取組を求める意見書
- ◎ 免税軽油制度の継続を求める意見書

上記の意見書が本会議で可決され、関係行政庁に送付されました。



人事案件

人権擁護委員の推薦に同意しました (任期：令和8年4月1日～11年3月31日)



さの かずひこ
佐野一彦氏
(村上地区・再任)



さとう や え こ
佐藤八重子氏
(村上地区・再任)



かとう なおこ
加藤直子氏
(村上地区・再任)



かん だしゅうこう
神田秀孝氏
(神林地区・再任)



そま ゆ き こ
相馬由紀子氏
(朝日地区・再任)



かとう まさし
加藤正志氏
(山北地区・再任)



すがわら ちづこ
菅原千鶴子氏
(山北地区・再任)



とがし れん たろう
富樫錬太郎氏
(朝日地区・新任)

人権擁護委員は、人権擁護委員法の規定により、市長の推薦、市議会の同意を経て法務大臣から委嘱されており、法務局と連携して主に次の活動を行っています。

- ・人権相談を受け、問題解決の手助けをします。
- ・人権侵害による被害者を救済します。
- ・地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行います。

議会の活動レポート

議会の活動レポート

地域を見る、聞く

荒川総合体育館大規模改修の現状は

11/11 総務文教常任委員会

荒川総合体育館の耐震改修大規模改修工事について、これまでの経緯や、事態の原因を明らかにし、対応策の検討を行うことを目的に現地調査を実施しました。

主な質疑と回答

設計委託を随意契約とした理由は

耐震診断を行った設計業者であり、データ活用や現場の状況把握が容易なため、迅速な作業が可能と判断した。

建築時の設計書類の管理は

工事に当たり建築当時の設計図書を探したが、市町村合併があり、一部が紛失していた。
追加工事の理由は

当初計画では含んでいなかったが、工事を進める中で想定以上の老朽化や利用者の快適性や利便性向上のため、内部改修等を追加した。

工事費用増加の原因は

専門知識の不足や安全性の優先で予期せぬ追加工事が生じた。

議会側が考える対応策

- ・指名停止に関する要綱を見直す。
- ・重要書類の保存管理の徹底を図る。

- ・建築士資格を持つ職員を募集し、体制を強化することが必要。更に、新潟県建設技術センターとの連携強化が必要。

今後の方針

今回の調査結果を基に、公施設の改修工事に関する対応策をまとめ、提言書を市長に提出することとしました。



通所介護事業の課題と今後は

10/14 市民厚生常任委員会

社会福祉協議会（社協）の現状と課題について、社協と福祉課、こども課、介護高齢課から説明を受けた後、今後の対応や方策について意見交換を行いました。

経営悪化と人材流出

社協からは、法人全体が赤字経営を余儀なくされているが、特に通所介護事業で年々利用者が減少して全体の経営を圧迫しているとの説明がありました。

また、職員の賞与をカットして赤字を補てんしており、職員のモチベーションが下がって、人材の流出により、組織の存続も危惧されているとのことでした。

質疑と意見交換

委員から、4年度に指定管理を更新する際に、現在の危機的な状況を予想できたのではないかと質疑に、社協からは、当時は利用者の急激な減少が想定できなかったと

の説明がありました。

また、リハビリに対する利用者のニーズが高いことから、今後はリハビリや機能訓練の部分を充実させていきたいとのことでした。

他に、委員から、通所介護事業の赤字を解消するため、利用料と指定管理料の併用型の指定管理への変更、給与を安定させて若い人を雇用できる環境をつくるべきとの意見や、介護人材の確保について、市もしっかりと取り組むべきとの意見がありました。



沿岸部の課題を調査

10 / 6 経済建設常任委員会

閉会中事務調査にて、上海府地区の海岸・国道等の現地視察を実施しました。
直面する地域課題を共有

コロナ禍の影響もあり6年ぶりに、上海府地区の海岸や国道等の現状と対策等について、上海府地区区長会・新潟県村上地域振興局・市関係部署の方々とともに、現地確認を行いながら説明を受け、地区内の海岸や国道に関する危険箇所等の情報共有と、改善に向けた意見交換会が行われました。
浸食被害も拡大

各区長の案内で、離岸堤設置や海岸線復旧工事、国道345号の危険箇所等の現地視察では、温暖化の影響が大きいとされる砂浜の侵食被害の進行が各所で確認されました。また、冬期間には越波により海水が集落内に流入する被害もあるとのことでした。

県に改善を強く要望

河川から排出された多くの流木も確認できましたが、処分対応と管理の必要性について県に対して各区長からさまざまな提言がありました。

点在する沿岸部の課題

同様の状況は山北地域でも確認されており、沿岸部で暮らす市民の皆さまが安心して日々を過ごせるよう所管委員会としても県に対して、調査や対応に係る経費の予算化について強く要望しました。



阿賀北の連携を深める

11 / 20 阿賀北五市議会議長会
連絡協議会 議員研修会

本市をはじめ、県阿賀北地域に位置する新発田市、阿賀野市、胎内市、五泉市の五市議会で組織する協議会の議員研修会が阿賀野市を会場に行われ、各市から議員約50人が参加しました。この会は各市の情報を交換し、それぞれの市の発展に努めることなどを目的にしています。

研修会では、「瓦の話」と題して安田瓦共同組合の遠藤理事長からご講演いただきました。

また、研修会に先立って開催された協議会では、各市の正副議長が出席し、「日沿道の整備促進」「羽越本線の高速化推進・白新線整備促進など」について、協議が行われ、課題を共有するとともに一層の連携を確認しました。

また、協議が行われ、課題を共有するとともに一層の連携を確認しました。



市議会だより行政視察

10 / 30 議会広報特別委員会

群馬県安中市議会の議会報編集委員会が、当市議会だよりの編集発行の視察に来訪され、三田議長と議会広報特別委員会委員が対応しました。

当市議会では、SNSやインターネット等が普及拡大している現在においても、議会だよりは議会の活動を伝える大事な手段と考えていることや、市民に議会への関心を

持つていただくための紙面づくりの工夫など、当市議会だよりの編集について説明しました。

市議会だよりの編集にあたって共通する課題も多々あり、率直な意見交換ができました。

また、議会報告会の実施等についても意見交換しました。



荒川高校

11月19日、3・4年生の生徒30人と議会運営委員会との懇談会を実施しました。

市議会の役割を紹介

初めに議会側から、市議会が果たしている役割や仕組みについて説明しました。

生徒の皆さんも、学校用タブレットに配信された説明資料も見ながら説明を真剣に聞き入っていました。

若者目線での質問や意見

生徒からは、村上市の行政運営や市民活動についての質問があり、議員が答弁する形式で進められました。そのいくつかをご紹介します。

問 村上駅前の旧ジャスコ跡地はどうするのか。

答 市は村上駅周辺まちづくり事業を進めており、旧ジャスコ跡地と村上総合病院跡地を「交流ゾーン」に位置付けている。

そこには、多目的広場やオープンスペースなどを、病院跡地は、新しい統合保育園の整備や、現在市内にある国



の施設を集約したり、民間企業に参入してもらい商業施設等の整備も検討している。この計画については市のホームページに動画でも紹介されているので、ぜひご覧いただきたい。

この他にも

・議員になって村上市はどう良くなったか。

・村上市を良くするために私たちができることは。

などの質問もあり、終了後のアンケートでは、「具体的な意見など議員の声が聞けて有意義だった」「自分ができている取り組みをやっていたい」「など前向きな感想をいただきました。

村上市の将来像を語ろう

高校生と議会の懇談会を開催

村上市議会では、村上市を担っていく若い世代である高校生を対象に、議員が市内3つの高校と中等教育学校に出向いて「高校生と議会の懇談会」を実施しています。

今号では、荒川高校と村上桜ヶ丘高校での様子を紹介します。

村上桜ヶ丘高校

12月22日、「観光ビジネス」を選択している3年生32人と、「村上市の将来を語ろう」をテーマに懇談会を実施しました。

これまでの学びの成果を

初めに、生徒の皆さんが3班に分かれ、各班で各自が学んできた多様な観点により検討した村上市活性化（案）について発表していただきました。その後、生徒と議員が見交換を行いました。そのいくつかをご紹介します。

問 市内では学生が利用する時間帯のバスの本数が少ないと思うが、増やすことはできないのか。

答 バス運行には利用者数が大きく関係し、現在の市内各地でのバス利用者は大変少なく、バス運行による利益を出すことが難しい状況になっている。市では「まちなか循環バス」や「のりあいタクシー」の運行などいろいろな工夫をしているが、生徒の皆さんからも利用者不足への対策など提言してほしい。



問 市内には廃校舎や体育館が多いが、今後どうするのか。
答 廃校舎の活用も市の大きな課題だが、有効に活用されている事例もある。

旧神納東小学校は屋内遊び場として整備され、市内外の多くの親子に利用いただいております。旧平林小学校はドローンスクールとして活用されている。

旅行者の生の声を反映

生徒の皆さんは、民間旅行社と「村上桜ヶ丘高校とのコラボ企画」と題し、地元村上市の魅力を伝えるバスツアーを企画してガイドとして同行しており、このたびは、その経験を踏まえた懇談会となりました。生徒の皆さんの今後の活躍が期待されます。

課題解決に向けた要望活動を実施

市議会では、喫緊の課題解決に向けて市側に対して、以下の申し入れを行いました。

クマ出没対策について

11月25日

餌となる木の実の不作などからクマの生息域が拡大し、人の生活圏まで餌を求めて頻繁に出没するようになり、市民生活の安心安全が脅かされている現状を踏まえて、市議会では市長に対して「クマ出没対策」について申し入れを行いました。

申し入れ事項

- ①緊急銃猟などクマの出没時に迅速な対処ができるよう、猟友会をはじめ関係機関との連携調整を更に緊密にすること
- ②クマの活動期間の長期化に対応すべく、猟友会会員の活動を支えるための事業所等への出動協力要請と負担軽減のためのガバメントハンターの導入、鳥獣害対策ミッション型の地域おこし協力隊等の増員について検討すること
- ③生活圏と生息域のすみ分けを図り、人とクマの距離を確保するため、中山間地や河川敷の環境整備を促進すること
- ④クマ対策は継続的な対処が必要である。クマ目撃情報の多発により一部の職員に業務が偏らないよう業務の平準化を図ること



社会福祉協議会の支援について

社会福祉協議会の通所介護部門の経営悪化が進行していることから、以前より運営経費に財政支援を行っている本市として、経営悪化の要因を把握するとともに、経営指導や指定管理の面で関与を強化し経営状況の改善が図られるよう、市民厚生常任委員会では市長に対して「社会福祉協議会の支援」について申し入れを行いました。

申し入れ事項

- ①社会福祉協議会の財務状況を確認し、持続可能な運営となるよう必要な指導や支援を行うこと
- ②福祉のまちづくりの実現に向けて、地域福祉の一層の推進を図るため社会福祉協議会との緊密な連携を強化すること

市有施設の改修工事の在り方について

12月19日

荒川総合体育館の耐震・大規模改修工事において、設計業務受託者の設計に瑕疵があり、その補正に期間を要したことや新築当時の竣工書類が揃っていなかったこと、工事内容に関する市の方針転換などが重なり、事業費の増額や工期延長が繰り返されました。体育館が利用できない期間も長引き、利用者への影響も大きくなっています。

総務文教常任委員会では市長および教育長に対して、今回の事態を教訓として、「市有施設の改修工事の在り方」について申し入れを行いました。

申し入れ事項

- ①公共施設の改修や修繕に当たっては、市民生活への影響を極力少なくするため、増工や工期延長による計画変更が生じないように事前調査を十分に行い、安全に配慮しつつ工事による利用休止期間の縮減に努めること
- ②近隣市の例も参考としながら、指名停止等措置要綱による指名停止および指名停止に至らない事由に関する措置の審査を行う機関を要綱に明記するなど要綱の見直しを検討すること
- ③重要書類の管理保存について、人事異動や組織改編により担当者が替わる際に、書類の保管場所の確認や管理方法について確実に引継ぎが行われるよう改めて注意喚起を行うこと



この人に インタビュー

空から地域を守る

DWSドローンスクール新潟村上
河内 仁さん (平林)



■自己紹介をお願いします

以前は新潟市でコンピューター関連の仕事に携わっていましたが、父が営んできた製造業「有限会社富士電子」を継ぐ決意をし、2017年5月に村上市に戻りました。父は10年前に75歳になったら会社をやめると宣言し、実際に8年前に会社の現場を離れました。会社を継続していくには新たな事業の柱が必要と感じ、自分の経験と地域性を生かせる分野を模索してきましたが、そこで出会ったのがドローンです。

■活動内容を教えてください

資格取得を進める中で、操作の指導から販売、メンテナンスや運用まで一貫して関わりたいと思い、会社の事業の一つとしてドローンスクールをスタートしました。市から地元の旧平林小学校の

体育館とプールを借りる許可が下りるまでに1年かかりましたが、現在は、国家資格講習、農業用散布、点検整備、全国での空撮、災害協定に基づく出動、害獣対策や物資輸送まで幅広く対応しています。

■今後の抱負を教えてください

ドローンは防災や農業のほか、観光、狩猟、高齢者の作業支援への活用など、多くの可能性を持っています。赤外線カメラや自動搬送などの技術を生かして、安全対策や省力化にも役立てたいと考えています。防災士をはじめ、現場で活動する方々にも活用してもらい、いざという時に地域の力になれる体制を整えたいです。まずは、「ドローンをこんなことに使えないか」と、気軽に相談してもらえる存在を目指していきます。

ユネスコ無形文化遺産登録をお祝い

12月19日



12月11日にユネスコ無形文化遺産代表一覧表に記載されている「山・鉾・屋台行事」の拡張提案が認められ、「村上祭の屋台行事」を含む4件の追加登録が決定しました。

議会としてもこの地域の宝を大切に継承されてきた多くの先人に感謝し、また、これまで取り組んでこられた関係者の皆様に心より敬意を表すべく、第4回定例会最終日に議場内に慶祝ののぼり旗を掲げさせていただきました。

令和8年 3月定例会のお知らせ(予定)

2月10日(火)	請願・陳情の提出期限(正午まで)
24日(火)	定例会初日(本会議)
25日(水)	代表質問(本会議)
27日(金)	
3月2日(月)	一般質問(本会議)
3日(火)	
4日(水)	総務文教常任委員会、一般会計予算決算常任委員会総務文教分科会
5日(木)	
9日(月)	市民厚生常任委員会、一般会計予算決算常任委員会市民厚生分科会
10日(火)	
11日(水)	経済建設常任委員会、一般会計予算決算常任委員会経済建設分科会
12日(木)	
17日(火)	一般会計予算決算常任委員会
23日(月)	定例会最終日(本会議)

*この日程は変更されることがあります。
*開会時間は午前10時です。

発行日変更のお知らせ

市議会だよりはこれまで5月、8月、11月、2月の15日に定期発行していましたが、令和8年度からそれぞれ同じ月の1日発行に変更予定です。なお、年度4回の発行回数は変更ありません。